

〔 横浜市民ギャラリーあざみ野 〕
平成 25 年度業務計画及び収支予算
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業。○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標。■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目17番地3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上3階・地下1階
敷地・延床面積	敷地面積 4,283 m ² 延床面積 7,899 m ² / 専有面積 1,975 m ²
開館日	平成17年10月29日

2 指定管理者

法人名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区北仲通四丁目40番地
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成22年4月1日から平成27年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

「アートで元気になろう」というコンセプトで、アートを積極的に生活に取り入れ、こころ豊かに暮らす市民と一しょに地域に働きかけ、横浜を元気にすることを目指します。

- ・ 市民と協働し、創造活動を行います。
- ・ いろいろな活動をしている人たちが知り合い、協力しあい、新しい活動が生まれる体制をつくり、ネットワークで地域が広がることを目指します。
- ・ 年齢、性別、人種、障がいの有無などすべての人に開かれた運営を男女共同参画センター横浜北とともにいき、すべての人を受け入れ、施設のにぎわいを作り出します。

(2) 25年度の位置づけ

①事業の方針

企画展や通年で行っているアトリエ講座等の内容を充実させ、市民が美術に触れる機会(鑑賞・参加)を数多く提供します。特にコンテンポラリーアートを紹介することで、現在進行形のアート体験ができる施設としての機能を発揮します。男女共同参画センター北との連携により、複合施設の特性を生かしたプログラムを実施します。市民協働事業では、アートサポーターをはじめとする市民参加の事業展開を通して、市民がアートと出会う機会を増やします。横浜美術館や横浜市民ギャラリー(関内)と連携して市民に美術情報を提供するほか、情報交換や企画協力によって展示や講座等の内容をよりよいものにします。また、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの収蔵館として「あざみ野フォト・アニュアル 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展+企画展」やロビー展示をとおしてコレクションを公開し、「フォト・ヨコハマ」への協力・連携も推進します。

②運営の方針

貸館利用者のサービス向上、バリアフリーの推進等、センター横浜北と共同で利用者の居心地のよい施設運営を行います。利用者の目線に立って希望を受け止め、芸術文化活動の成果が最大限発揮できるよう、専門的なサポートを行います。また、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの整理・保存・活用を適切に行います。

③管理の方針

設備や備品の適切な保守管理に努めます。アートフォーラムあざみ野全体で環境に配慮するとともに、安心して明るく使いやすい施設管理に取り組みます。

4 事業に関する業務計画

(1) 文化芸術に直接出会える場について

[目指す成果/アウトカム]	
・多彩な企画展を実施してアートに出会う場を提供し、芸術文化を身近に鑑賞・体験できる拠点としての機能を発揮します。	
・それぞれの企画展でトークイベントやワークショップなどの関連事業を実施し、作品への理解を深めます。	
[取組内容]	[達成指標]
●「横浜 wo 発掘 suru 展 vol.4」(6月)	□4回の展覧会で、関連事業を含め入場者数12,000人以上。
●「あざみ野こどもぎやらりい2013」(8月)	□アンケートを実施し、企画展4回の平均満足度4.6以上。
●「あざみ野コンテンポラリー vol.4」(10月)	
●「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション+写真展」(2月)	

(2) 市民やアーティストの創造活動の支援の場について

[目指す成果/アウトカム]
・初心者にも、専門性の高い講座を希望する方々にも応える幅広い美術創作プログラムを開催し、創作の楽しさを体験できる場を増やします。
・市民とアーティストや作品との距離を縮め、コンテンポラリーアートを身近なものにする

<p>に若手アーティストを支援し、コンテンポラリーアートの振興に貢献します。</p> <p>・様々な人たちが集まり、アートを楽しく学びながら新たな活動が生まれる場となります。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●市民のためのワークショップ 美術創作の基礎の習得を目的とした講座や、アーティストによるレクチャーと制作を行う講座等。</p> <p>●ショーケースギャラリー ホワイエに設置した展示ケースで、アーティストの小品展を実施。</p> <p>●アーティスト「今年の顔」</p> <p>●「あざみ野カレッジ」 アートの領域を広げ、生活の中にあるさまざまなテーマをとりあげる学びの場。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□市民のための講座・ワークショップ 年間 50 回実施。 参加者延べ 850 人以上。 平均満足度 4.6 以上。</p> <p>□ショーケースギャラリー 新進アーティストによる展示を 年間 6 回実施。</p> <p>□あざみ野カレッジ 5 年間で学生数 1,000 名を目指します。 (25 年度 200 名)</p>

(3) 次代を担う子どもの創造性教育の場について

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p>・財団中期経営計画の基本施策「3. 未来の横浜を担う子どもの創造性を育むための仕組みづくり」の目標達成の一翼を担います。</p> <p>・多彩なワークショッププログラムで創作活動の場を提供し、心と体をつかっのびやかに活動することを通して、子どもの心身の健やかな成長を育みます。</p> <p>・学校教育と連携し、鑑賞事業や教師を対象にした鑑賞・実技のワークショップを実施して創造性教育の場の充実につなげます。</p> <p>・子どもたちにコンテンポラリーアートに親しむ機会と、学校の授業とは違ったアートの体験を提供し、アートに親しむ市民を育成します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●子どものためのプログラム</p> <p>・フリーゾーン 親子が粘土、紙、えのぐで遊べる創造活動の場。</p> <p>・親子で造形ピクニック 個別支援学級や特別支援学校に通う親子を対象にした造形活動の場。</p> <p>・ワークショップ プログラムごとに対象年齢を設定し、体験することを大切にした幼児・児童向けの多彩なワークショップ。</p> <p>●学校教育との連携</p> <p>・教師のためのワークショップ</p> <p>・ティーチャーズあざみ野プロジェクト</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□子どものためのプログラム 年間 80 回以上実施。(ジュニアコーラス含む) 参加者数 延べ 8,200 人以上。</p> <p>□アニメーション制作など、ワークショップ実践手法を学べる教師向けの講座を 1 回実施。</p>

<p>中学・高校の美術の先生との連携、研修への協力。</p> <p>●アウトリーチ</p> <p>「横浜市芸術文化教育プログラム」に協力し、アーティストと一緒に小中学校へ出向いて創作を行います。</p>	<p>□ティーチャーズあざみ野プロジェクトへの参加者数 20 人以上。</p> <p>□アウトリーチ事業 5 回以上。</p>
---	---

(4) 創造活動と社会、市民活動を結びつける場について

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の創作活動の発表の場を提供するとともに運営をサポートし、市民が主体となった芸術文化創造活動の場を広げます。 ・施設全体を総合的な芸術活動による地域の市民交流の場とします。 ・地域の市民活動等と結びついて出張事業を行い、「アートで元気になる」活動を地域から生み出します。 	
<p>[取組内容]</p> <p>○横浜北部美術公募展 実行委員会と共催し、運営をサポート。</p> <p>○青葉区民芸術祭(前期/後期) ふるさと協議会、運営委員会と共催し、運営をサポート。絵画・書道・写真・茶道・文芸などの発表。</p> <p>●街なかアートプロジェクト アート屋台を活用し、出張ワークショップを実施。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□横浜北部美術公募展 応募総数 300 点以上。 入場者数 4,500 人以上。</p> <p>□青葉区民芸術祭(前・後期) 入場者数 5,000 人以上。</p> <p>□街なかアートプロジェクト 5 年間で 15 事業実施(25 年度 3 事業)</p>

(5) 創造活動を介した人々の関わり合いの場について

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校や作業所での創造活動を支援し、障がいのあるなしにかかわらず認め合える豊かな関係を築きます。 ・市民とアーティストが知り合う場や、アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表する場を提供し、アートを介してネットワークが広がる場としての役割を担います。 ・様々な市民協働事業の相乗効果で来館者を増やします。 ・すべての人に開かれ、親しみやすく賑わいのある場をつくります。 	
<p>[取組内容]</p> <p>●フェローアートギャラリー 障がいのある人たちの作品展示を行うミニギ</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□フェローアートギャラリー 3 組以上の展示発表。</p>

<p>ギャラリー。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アートカフェ 市民とアーティストの交流の場。 ●アートワゴン アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表・販売する場。 ●アートガーデン ●あざみ野ナイト 建物の壁面や窓ガラスを使って映像作品を映し出すイベント。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>アートカフェ 年3回実施。 <input type="checkbox"/>アートワゴン 年9回実施。 <input type="checkbox"/>あざみ野ナイト 年1回実施、開催日の来場者数2,200人以上。
--	---

5 施設の運営に関する業務計画

(1) 人員配置について

項目	人数	備考
館長	1人	課長級
副館長	1人	係長級
職員	8人	臨時職員含む

(2) 勤務体制について

基本：早番（8：45～17：30）2名、遅番（12：30～21：15）2名
（全職員によるローテーション制）

(3) 市民の利用を促進することについて

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺漏のない貸し出し業務を行い、顧客満足度を高めます。 ・利用者サービスの向上に努め、活発な施設利用と施設の賑わいを創出します。 	
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アトリエの平日夜間料金を半額とし、新規利用者開拓と利用促進を図ります。 ●利用者の意図が最大限発揮できるよう、具体的にアドバイスをします。 ●利用団体の展覧会情報をホームページや情報誌で照会し、広報協力をします。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>アトリエ利用目標利用率 (5年間で利用可能コマ数に対し70%) コマ単位 67%、日にち単位 90%、 夜間コマ利用率 27%。 <input type="checkbox"/>アンケートによる展示室利用者の満足度 4.6以上。

(4) 施設運営における市民参画を促進することについて

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア(アートサポーター)との協働によって市民のアート活動を促進するとともに、地域住民の認知度を高めます。 ・市民の声を積極的に取り入れ、「市民のための施設」としての運営改善に生かします。 	
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アートサポーターの方々に、展覧会やワークショップの運営、広報事業にご協力いただきます。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □アートサポーター登録者数 5年間で150名(23年度末で約140名、25年度で150名)を目標とします。 ■アートサポーターに、企画展の事前調査やアーティストの制作補助への協力のほか、企画展レポートの執筆など、広報事業でも活動していただきます。

(5) 積極的な広報を展開することについて

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌やホームページやメールマガジン等を通して当館の事業活動や貸館情報を広報し、集客につなげます。 ・ホームページのアーカイブ機能の充実や全市的なアート情報の発信を通して、市民が多彩な情報を得てアートに親しむ機会を増やします。 	
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報誌「アートあざみ野」 年4回発行。 ●ホームページの内容充実と最新情報の発信 ●「あざみ野メンバーズ」(メルマガ登録者) 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □ホームページアクセス件数年間45万件以上。 □ホームページ更新 週1回以上 □あざみ野メンバーズへのメールマガジン 月1回の定期配信。 ■広報する内容によって有効な媒体を選択し、コストパフォーマンスを高めます。

(6) 市民ニーズ、市民満足度等の把握と対応について

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p>アンケートや利用者意見の分析結果を管理運営に反映させ、来館者が居心地のよい施設運営を行います。</p>	
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●顧客満足度調査(事業参加者と貸館利用者)(再掲) ●管理合同ミーティング、職員ミーティング 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■利用者のクレームや意見を館内職員で情報共有し、迅速な運営改善につなげます。 ■障がいのある人を対象にしたギャラリートourの実施や、サインの工夫をします。

(7) カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示について

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カメラ・写真の歴史を次代に引き継ぎ、貴重な収蔵品を長く良好に残します。 ●活用事業や写真関連事業への協力を通して、カメラ・写真の魅力を広め、写真発祥の地・横浜をアピールします。 	
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●適切な収蔵庫管理(温湿度管理、空気測定、喰害虫調査) ●資料の映像記録、データベース整備 ●作品の状態確認、修復 ●公開 あざみ野フォト・アニュアル (展示室での企画展) ロビー展示 (テーマを設定した小展示) ●貸出、熟覧への柔軟な対応 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■展示室内環境は、年間通して温度 20℃±2℃、湿度 50%±2%。 ■pH 値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置。 ■文化財喰害虫生息調査を定期的実施。 ■講座実施、資料活用については東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関の協力を得ながら進めます。 ■ワークショップや講座を実施し、写真制作に関わる理解を推進します。 □ロビー展示 年4回実施。

6 施設の管理に関する業務計画

(1) 市民ギャラリーあざみ野専有部分における建物・設備・備品の適切な保守管理及び予防保全

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設備業者とともに建物・設備の保守管理を確実にを行い、法定点検を遺漏なく実施します。 ●展示室の壁面の補修や備品のメンテナンスなど、良好な状態を保ちます。 ●空気調和や清掃を適切に行い、快適な環境維持に努めます。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■年間無事故を目指します。 ■クレームの無い、快適な環境維持を目指します。 ■修繕必要箇所に迅速に対応します。 □展示室壁面を年1回メンテナンス(塗り直し)します。
--	---

(2) 環境問題への配慮について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設利用上出た廃棄物を適切に処理します。 ●光熱水費の削減に努めます。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ゴミの分別を徹底し、排出量を抑えます。 ■利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底し、必要な場合はゴミ袋を有料で販売します。 □電気とガスの使用量を平成 24 年度比▲1%とします。
---	--

7 その他実施計画

(1) 危機管理対策の充実について

<p>[取組内容]</p> <p>●危機の未然防止に努めるとともに緊急対応体制を整備し、事故発生時には市へ迅速に報告します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■緊急対応体制、危機管理マニュアルを随時更新し、危機の際には全員が一致して取り組みます。</p> <p>□合同防災訓練を年間2回実施します。</p>
--	---

(2) 保険及び損害賠償の適切な取り扱い、個人情報の保護への適切な措置、情報公開への積極的取組みについて

<p>[取組内容]</p> <p>●保険及び損害賠償について適切に取り扱います。</p> <p>●適正な個人情報保護、情報公開を行います。</p> <p>●ホームページを活用し、必要な情報を開示します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■賠償責任保険、レジャーサービス保険、動産保険に加入。</p> <p>■集めた個人情報は規程に基づき適切に取り扱います。</p> <p>■施設利用者向けの必要な情報は、施設ホームページにおいて速やかに公開します。</p>
---	---

(3) 男女共同参画センター横浜北との連携について

<p>[取組内容]</p> <p>○事業面での協働 企画段階から共同し、複合施設の相乗効果を発揮するとともに、双方の特色を活かした事業を行います。協力して施設の賑わいを創出します。</p> <p>○運営面での協働 日常業務や定例の打ち合わせにおいて情報や意見を交換し、「アートフォーラムあざみ野」の施設職員としての意識を高め、広報や環境整備など、効果的な運営に取り組みます。</p> <p>○維持管理面での協働 委託会社にもそれぞれの財団のミッションや役割、事業内容、利用者の特性などについて伝えます。委託会社を交えた定例の打ち合わせを確実に実施し、共同で施設全体の適正な維持管理に取り組みます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□ロビーコンサートを月2回実施。</p> <p>□アートフォーラムフェスティバルを年1回実施し、来館者数2,500人以上。</p> <p>■女性と芸術文化をテーマにした「あざみ野サロン」、インターンシップ受け入れ、子ども向けプログラム「クリスマスジュニアコーラス」(11月～12月)を共同の企画で実施。</p> <p>□管理合同ミーティングを週1回実施(ギャラリー、センター、委託会社)。</p> <p>□職員合同ミーティングを月1回実施。</p>
--	---

(4) 横浜アーティストデータバンクの構築と運用について

<p>[取組内容]</p> <p>●横浜におけるコンテンポラリーアートの展開と発展のために実施します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■経営企画グループと共同でLOD化を進め、財団内で連携したデータベースを整備します。</p>
---	---

	<p>■新進アーティストを継続して支援していくことを重要なミッションとして位置づけており、制作の支援、活動の紹介および発表の場の提供など積極的に取り組んでいきます。</p>
--	--

8 収支について

(1) コスト削減への努力について

<p>[取組内容]</p> <p>○適正な予算執行と業務の効率化による節減に努めます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■男女共同参画センターとも協力し、施設管理にかかる委託費を前年度並みに抑制します。</p>
---	--

(2) 収入向上及び外部資金導入の努力について

<p>[取組内容]</p> <p>●利用料金収入の安定的な確保に努めます。</p> <p>●自主事業において、助成金・協賛金を獲得します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□利用料金収入(男女共同参画センターとの共同管理に係る負担金収入を含む)年間1,200万円以上を維持。</p> <p>□助成金を2件以上申請し、協賛金・広告料とあわせて獲得目標300万円以上。</p>
---	---

(3) 収支予算額について

収支予算書

(単位：円)

項目	予算額	備考
収入		
指定管理料収入	164,200,000	
利用料金収入	9,700,000	
事業収入	3,500,000	
その他収入	4,780,000	
合計	182,180,000	

支出		
人件費	69,000,000	
管理費	64,900,000	
事務費	11,980,000	
文化事業費	36,300,000	
合計	182,180,000	

収支計	0	
-----	---	--

【別紙1】

自主事業一覧

1 文化芸術に直接出会える場

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	6月	横浜 wo 発掘 suru 展 vol.4	展示室1	横浜の優れた人材、芸術文化資源を発掘・展示する展覧会。	1,600	3,500,000
2	8月	あざみ野こどもぎや らりい2013	展示室1・2 アトリエ	子どもから大人まで楽しめる内容の展覧会。自由参加型のワークショップもあり。	3,800	3,300,000
3	10月～11 月	あざみ野コンテンポ ラリー2013	展示室1・2 アトリエ ほか	さまざまなアーティストが現在行っている表現活動に目を向けた展覧会。	3,200	5,000,000
4	2月	あざみ野フォト・ア ニユアル(横浜市所蔵カ メラ・写真コレクション +写真展)	展示室1・2	様々な切り口でコレクションを紹介し、写真の企画展をあわせて行う。	3,200	5,400,000

2 市民やアーティストの創造活動の支援の場

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	4月～3月	市民のためのプログ ラム	アトリエ	技術や材料、また道具や機材の扱いについての基礎基本の習得を目的としたものや、アーティストからレクチャーを受け、自らの表現に生かすワークショップなど。	延800	2,000,000
2	4月～3月	市民協働事業 ショーケースギャラ リー	エントラン スロビー	ロビーに設置した展示ケースで主に新進アーティスト小品展を実施。	—	1,000,000
3	4月～3月	市民協働事業 アーティスト「今年の 顔」		新進アーティストを支援・紹介。 ※1-1、1-3、2-1、2-4、3-2、4-2に含まれていたもの(アーティスト支援)を項目出し。	—	50,000
4	4月～3月	市民協働事業 あざみ野カレッジ	アトリエほ か	生活の中にあるアートの領域を広げ、さまざまなことを学ぶ場。	200	700,000

3 次代を担う子どもの創造性教育の場

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	4月～3月	子どものためのプログラム ① 親子のフリーズゾーン ② ワークショップ ③ 親子で造形ピクニック	アトリエ	① 子どもと保護者が自由に、粘土、絵の具、紙工作による造形遊びを楽しむ時間。 ② 子どもを対象とした美術系のワークショップ。 ③ 個別支援学級や特別支援学校に通う親子を対象とした造形を楽しむワークショップ。	8,200	3,700,000
2	4月～3月	学校連携事業 ①教師のためのワークショップ ②ティーチャーズあざみ野プロジェクト ③アウトリーチ	アトリエ ほか	①小・中学校の先生を対象とした鑑賞や実技についてのワークショップ。②中高生の美術体験の機会を増やすプロジェクト。③横浜市が進める「横浜市芸術文化教育事業」と連携し、コンテンポラリーアートを楽しむ事業。	延 450	300,000

4 創造活動と社会、市民活動を結びつける場、創造活動を介した人々の関わり合いの場

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	11月～1月	① 横浜北部公募展 ② 青葉区民芸術祭	展示室1・2	①横浜市北部4区から公募した絵画を審査のうえ展示。 ②青葉区の芸術祭の開催。書道、写真、華道の展示。区民の日頃の文化活動の成果発表の場の提供。	① 4,500 ② 5,000	0
2	4月～3月	市民協働事業 街なかアートプロジェクト	館外	アート屋台で出張ワークショップを実施するなど、アートの持つ活力で街を元気にする事業。	—	150,000
3	4月～3月	市民協働事業 男女共同参画センター横浜北 共同事業	2F ラウンジ、アトリエ、エント	① 障がいのある人たちのアート作品を共有スペースに展示。	—	1,700,000

		① フェローアート ギャラリー ② アートカフェ ③ アートワゴン ④ あざみ野ナイト	ランスロビー、 アートプラ ザほか	② 企画展開催に合わせて開催する、アーティストと市民が語る交流の場。 ③ アーティストや障がいのある人たちのアート作品を販売。 ④ アートフォーラムあざみ野の建物を使った映像作品上映など、夜に行うイベント。		
--	--	---	-------------------------	---	--	--

5 積極的な広報展開

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	4月～3月	情報紙「アートあざみ野」HPによる情報提供		当館主催事業のほか貸館の展覧会情報などの広報のため活用。		1,900,000
2	4月～3月	ネット広報事業 あざみ野メンバーズ/あざみ野ネットワーク		メルマガ登録者を増やし、ホームページを活用して横浜のアート情報にアプローチしやすい体制を作る。		700,000

6 カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	4月～3月	横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの保存と活用	収蔵庫、展示室、エントランスロビー	データベース整備、適切な保存業務。 コレクションの魅力を広く紹介するための貸出、公開。		3,400,000

7 男女共同参画センター横浜北との連携

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	4月～3月	センター横浜共同事業 「Welcome ロビーコンサート」	エントランスロビー	市民広間演奏会のメンバーを中心に、多彩なジャンルの音楽で昼のひとときを楽しんでいただくミニコンサート。	3,000	900,000
2	10月21日	センター横浜北共同事業 アートフォーラムフ	全館	アートフォーラムあざみ野の開館を記念して毎年秋に全館あげて実施するフェス	2,500	500,000

		フェスティバル 2013		ティバル。		
3	11月～12月	センター横浜北共同事業 「クリスマスジュニアコーラス」	アトリエ、音楽室、エントランスロビー	小学生対象の合唱。ワークショップ9回と本番（ロビーコンサート出演）1回。	30	450,000
4	4月～3月	センター横浜北共同事業 「あざみ野サロン」ほか舞台芸術系事業	レクチャールーム ほか	講演会やコンサートなど、女性と芸術文化をテーマにしたイベント。	400	1,500,000
5	8月～3月	センター横浜北共同事業 共催ワークショップ、インターンシップ	アトリエ ほか	共通するテーマのワークショップ、高校生の職場体験、大学生インターンの受け入れ、協働での企画等。	20	150,000